

## 岩手県滝沢市太陽光発電事業への出資決定について

一般社団法人グリーンファイナンス推進機構（代表理事：末吉竹二郎、以下機構）は、株式会社洗陽電機（所在地：兵庫県神戸市 代表取締役：乾正博）が計画する太陽光発電事業に 6.0 億円の出資を決定致しましたのでお知らせします。

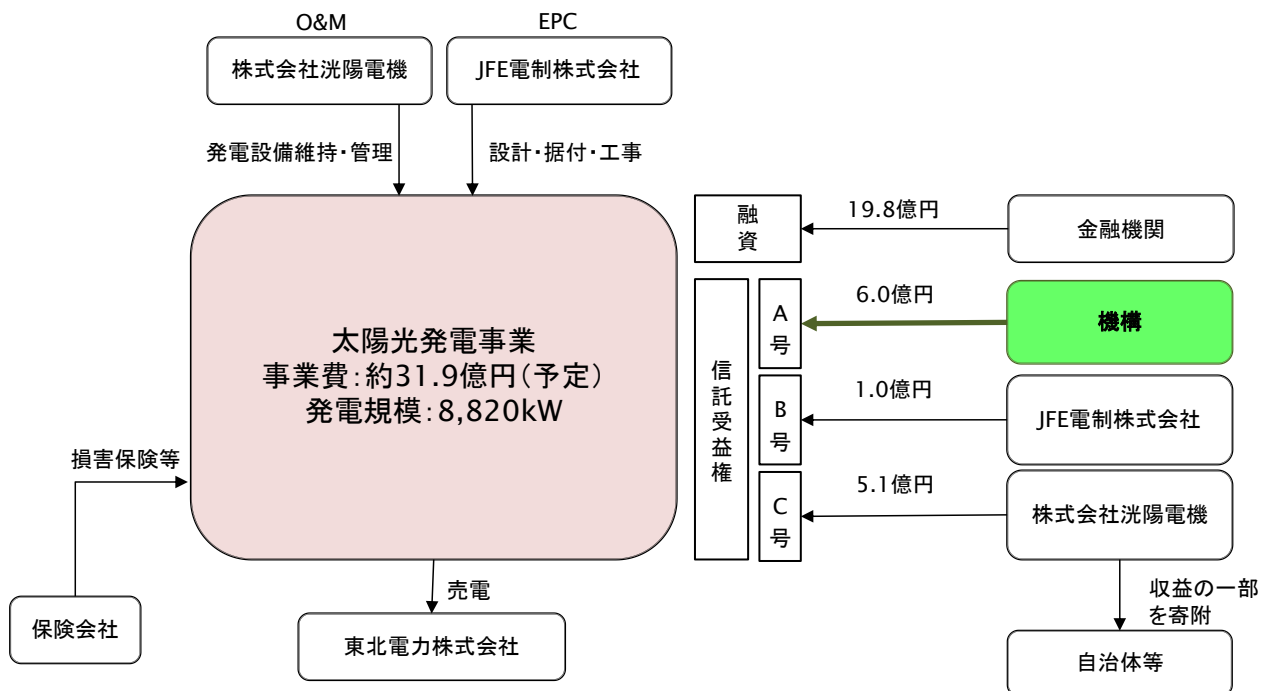
本プロジェクトは、株式会社洗陽電機が岩手県滝沢市で行う、無制限・無補償の出力抑制の対象となる太陽光発電事業\*です。

無制限・無補償の出力抑制の対象となる太陽光発電事業は、将来の出力抑制の見通しを予測することが困難で事業リスクが高いため、金融機関による融資が難しく、事業化が進んでいない状況です。

機構の参画が本プロジェクトへの金融機関の融資の呼び水となり、さらには同種の太陽光発電事業の促進に貢献すること、また地元企業と連携した建設工事や保守管理業務、株式会社洗陽電機から地元への収益の一部寄附等により地域活性化効果が見込まれることに鑑み、出資決定致しました。

\*「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」における出力制限に関するルールに基づき、東北電力株式会社管内において平成 26 年 10 月 1 日以降に系統連系の申込を行った 10kW 以上の太陽光発電設備については、出力抑制が行われた場合、その時間の多寡にかかわらず東北電力株式会社による補償がなされない。

### 1. スキーム概要



(説明)

- ① 本プロジェクトに対し、機構が 6.0 億円、株式会社洗陽電機が 5.1 億円、JFE 電制株式会社が 1.0 億円を資金拠出します（融資はシンジケートローンにより 19.8 億円を調達予定であり、地域金融機関にも参画を呼び掛ける予定）。

- ② 上記資金を利用し、JFE 電制株式会社が地元業者を活用して太陽光発電所を建設し、稼働後は、株式会社洸陽電機と地元業者が発電設備の維持・管理・保守を担います。

## 2. 出資意義

機構は、主に以下の点を評価し、本件への出資を決定致しました。

- ① 無制限・無補償の出力抑制の対象となる太陽光発電事業は、金融機関による融資が難しくその事業化が進まない中、機構の参画が金融機関の呼び水となり、本プロジェクトの事業化を可能にすること。加えて、本プロジェクトの事業化が同種の太陽光発電事業の促進に貢献すること。
- ② 造成、土木工事、一部の保守管理業務等の地元業者への委託、株式会社洸陽電機による地元への一部収益の寄附等により、地域活性化効果が見込まれること。
- ③ 二酸化炭素の排出の抑制・削減に寄与すること（本事業による CO2 削減効果は 5,099t-CO2/年を想定しています）。

---

お問い合わせ先

一般社団法人グリーンファイナンス推進機構 事業部

電話：03-6257-3863・3864 ホームページ：<http://greenfinance.jp/index.html>

---